

修学旅行、宿泊税の免除を



壇上で県の施策を質問する宮坂奈緒県議

県、宿泊事業者にアンケート

住みやすいとだれもが思うまちづくりに全力を上げている宮坂奈緒県議（浦安市選出、2期）は2月定例県議会で登壇し、浦安市が抱える課題を中心に県の施策を尋ねました。県は宿泊客に宿泊税を課税する方針ですが、宮坂県議は修学旅行生には課税を免除するべきだと主張、さらに、宿泊税を検討している市町村と慎重な協議をするべきだと要望しました。宮坂県議の質疑と熊谷知事ら県執行部の答弁を紹介します。

2月定例県議会一般質問

宮坂議員 12月県議会で、熊谷知事はホテルなどの宿泊客に課税する宿泊税の導入決定を表明した。県は一人一泊150円で市町村の課税は県税分に上乗せする素案を提示し、多くの議員から宿泊客の減少懸念や、宿泊税を検討している市町村と県の制度との調整などの質問がなされた。

浦安市内には大規模テーマパークのほかホテル、商業施設などが多く、浦安市は来訪者の増加によるインフラ整備や救急需要、ごみ処理体制といった行政需要などにも独自課税する宿泊税を充てることとしている。県では、修学旅行生についても課税対象にして、その財源は県内を周遊する教育旅行等に対し、バス借り上げ費用や、宿泊費の支援等に充てることも検討しているが、修学旅行を課税免除しない主な理由は、宿泊事業者への配慮として、徴収事務を煩雑化させないためとしている。

宿泊事業者への配慮は一定程度必要だが、税負担者への配慮が重要であり、特に修学旅行については、子ども達の学習・勉強のためであるという目的を鑑みて

旅行の宿泊者は課税免除にすべきと思うかどうか。総務部長 県では、宿泊税を活用し、教育旅行向けの観光コースや体験学習コンテンツの充実などにも積極的に取り組んでいくことで、教育旅行市場における競争力を強化し、修学旅行先としてこれまで以上に本県を選んでいただきたいと考えています。また、修学旅行を課税免除とした場合、徴収事務を行う宿泊事業者の業務負担が大きくなることも考慮し、修学旅行も課税対象とする方向で検討してまいりました。しかしながら、修学旅行について、課税免除を求める声もあることから、現在、宿泊事業者を対象に、改めてアンケートを実施しているところであり、今後も、市町村や宿泊事業者の御意見を丁寧にかきながら、検討を進めてまいります。

独自課税の自治体と慎重な協議が必要

宮坂議員 宿泊税の税率を県内一律にした上で、市町村が独自課税する場合は、協議の上、県の税率を調整するような制度設計にすべきと思うかどうか。また、市町村への支援について、市町村の実情に応じた使途に幅広く活用できるようにすべきと思うかどうか。知事 県の税率については、観光振興に広域的に取り組むために必要な事業の規模を約45億円と見込んだ上で、市町村が県とは異なる使途に宿泊税を活用した場合に、独自に課税できる余地を残すため、他団体と比べ低額となる一人一泊150円に設定をしております。その上で、県の宿泊税の

うち四分の一に相当する約11億円を、市町村等への支援に活用することとしており、独自課税を行う市町村も含め、全ての市町村に対し、宿泊者数や観光客数に応じ、交付金として配分をする方向で考えています。この交付金については、基本的に、新規性があり、県の観光振興施策の方向性に合致する取組に活用していただきたいと考えていますが、市町村にとって、できるだけ活用しやすい制度となるよう、さらに検討を深めてまいります。

要望

宮坂議員 最終的な判断はこれからされるということが分かったが、改めて独自に宿泊税の導入を検討している自治体

宮坂なおプロフィール

○ 経 歴 ○

- 昭和53年 東京都中央区に生まれる
- 平成11年 川村学園短期大学卒業
- 平成11年 森田健作衆議院議員秘書
- 平成15年 財務省主計局非常勤職員
- 平成17年 東京国税局非常勤職員
- 平成19年 浦安市議会議員初当選（3期12年）
- 平成31年 千葉県議会議員当選
- 令和5年 千葉県議会議員2期目当選

- 防災士
- 浦安ライオンズクラブ
- 浦安市華道協会（錦花池坊師範）
- 市川浦安地域獣医師会 顧問

県政や浦安市のまちづくりについて、気軽にご相談ください

宮坂なお 事務所

TEL 047-355-7300 FAX 047-355-7303

〒279-0042 浦安市東野1-23-12 パレドール・イースト116

浦安市の境川テラス護岸 市民の利活用望む

宮坂議員 浦安市明海・高洲地区の境川護岸に関しては、テラス式護岸として、市民の憩いの場として親しまれていた。

しかし、現在立ち入り禁止になっており、境川周辺の

クリーンアップの際には、

カヌー協会などのものと、水中からのアプローチでゴミを収集している。地元関係者、近隣住民からは、

観水性のあるテラスの活用が要望として挙げられ

ている。

そこだろうかすが、境川下流部の護岸テラス部について、利活用が出来るよう再整備すべきと考えるがどうか。

県土整備部長 境川下流

部の護岸テラス部については、潮位によって水没することから、安全面を考慮し立ち入り禁止としています。が、堤防の高さや護岸の健全性は確保されており、現時点でテラス全体の再整備は考

ておりません。
一方、ハゼ釣り教室や清掃活動などの地域イベントの際には、市などと調整を図り、一時的な利用を認めているところ。

浦安・猫実川 水質浄化進む

宮坂議員 猫実川における良好な河川環境の創出のため、どのように取り組んでいるのか。

県土整備部長 猫実川では、定常的な水源がなく、流域の急激な都市化により、水質の悪化が問題視されて

るところ。今後、市と連携しながら、境川の賑わいのある水辺空間の創出を推進してまいります。

浦安・猫実川の水質浄化は、旧江戸川からの導水や浄化施設の整備、下水道の普及等により水質目標を大幅に下回り、改善が進んでいる状況です。

また、これらの水質浄化対策に加え、定期的な除草やゴミの除去などを行ってきており、引き続き、良好な河川環境の維持に努めてまいります。

浦安・境川の2水門 耐震対策を予定

宮坂議員 境川の東水門、西水門について老朽化対策と耐震対策の状況はどうか。

県土整備部長 県では、老朽化が進む水門の機能維持を図るため、定期点検等により各施設の状態を適宜把握するとともに、長寿命化計画に基づき予防保全型の整備・更新を行っており、境川の両水門では、これまでにゲートの更新工

事等を実施してきたところ。また、耐震対策については、今年度、最新の基準に基づく診断を実施したところであり、この結果を踏まえ、今後必要な対策を講じていく予定です。

浦安市内のT字路交差点 視覚障害者のために エスコートゾーンを

宮坂議員 視覚障がい者が安全に横断歩道を渡るために、歩道中央に点字プロットが敷かれたエスコートゾーン整備方針はどうか。

警察本部長 エスコートゾーンは、視覚障害者の安全確保と利便性向上に資するものであり、県警では、主に市町村が策定している。バリアフリー基本構想で指定された、重点整備地区内の主要な生活関連経路上や、視覚障害者から要望がある信号交差点に対し整備を行うっていくこととしております。

に面するT字路交差点では、バス通りが交差し交通量が多く、三方に設けられた横断歩道のうち一箇所は特に道幅が広い。ため、横断歩道の全長が長い横断歩道となっている。

当該地域、小学生から高齢者まで通学や通勤で横断歩道を利用する視覚障害者が数名おり、現状でも横断歩道に横断歩道を外れて歩行してしまうケースも見受けられる。視覚障害者が単独で横断するには困難が伴うことから、3箇所の横断歩道にエスコートゾーンの設置を強く要望する。

要望 宮坂議員 浦安市 の高洲中央公園北側

浦安市の特別支援学校 高等部の設置要望

宮坂議員 浦安市に整備する特別支援学校の令和9年度の開校に向けて、県教育委員会はどのように取り組んでいくのか。

教育長 浦安市に整備する特別支援学校については、現在、実施設計を行っており、完了後、速やかに整備を進められるよう、令和7年度当初予算案において、工事費に係る債務負担を設定したところであります。

また、開校に向けて必要となる、通学区域やスクールバスの運行等の検討、校名の募集などについても、適切に準備を進めてまいります。

今後とも、浦安市と連携を図りながら、保護者や地域の方々に対して、状況に応じた丁寧な説明を行い、令和9年度の開校に向けて、着実に取り組んでまいります。

再質問 宮坂議員 浦安市に整備する

特別支援学校は小中学部の設置とのことだが、高等部はどうするのか。
教育長 葛南地域における高等部の設置については、周辺地域の特別支援学校の在籍者数の推移等から、必要規模などを想定した上で、転用可能な校地・校舎の活用などについて、引き続き、検討してまいります。

要望 宮坂議員 小中学部の令和9年度の開校に向けて、引き続き推進するほか、必要な遊具を設置し、障害のある子どもにも共に学び、共に育つことができるような学校を目指すよう要望する。
また、高等部設置に向けて、引き続き取り組むよう要望する。

高齢者にeスポーツ推奨

宮坂議員 eスポーツを普及していく上で、高齢者もターゲットにしていくべきと考えらるがどうか。

スポーツ・文化局長 eスポーツは、年齢や障害の有無に関わらず、多くの方々に楽しまれており、身体運動

を伴うものについては、高齢者の健康増進にもつながるものと認識しています。

このため、県では、県内の観光地を巡るバーチャルサイクリングのオリジナルコースを作成し、商業施設で体験会を実施しているほか、

高齢者施設での活用・研究を行っており、体験者からは「臨場感があり、ゲームをクリアする感覚で運動ができてやる気が出る」などの声をいただいたところであります。

引き続き、他の自治体における取組も参考にしながら、

ら、高齢者の健康づくりや社会参加の促進といった視点も踏まえ、幅広い世代へのeスポーツの普及について研究してまいります。

要望 eスポーツを通じての健康づくり等、高齢者団体の皆様と意見交換を行っていただけて施策を進めていただけるよう要望する。